

ワークショップ 「涼しいまちをデザインしよう」 ークールスポットからクールエリアへの展開ー

開催日時：2017 年 12 月 8 日（金）13：00～14：40

開催場所：日本大学会館 大講堂 A 会場

（東京都千代田区九段南 4-8-24（市ヶ谷駅徒歩 2 分））

1. 趣旨

ヒートアイランド現象や気候変動によりまちなかの暑さは厳しさを増しており、その一方で暑さに脆弱な高齢者等が増加している。このような状況下で、2020 年夏には海外からかなりの来訪者を迎えるの大規模イベントである東京オリンピック・パラリンピックが開催される。

そのため、暑熱をテーマとした施策、研究やシンポジウム等が数多く見られるようになり、`暑さ対策`の必要性や重要性が認識されるとともに、クールスポットの有効性を示唆する知見が蓄積されつつある。

また、このような`暑さ対策`はクールスポットとしてだけでなく、まち全体にクールエリアとして展開していくことが求められている。しかし現状では、効果的な暑さ対策の実施エリア、場所、選定する対策技術に関する情報が十分に整理されておらず、賑わいのあるまちづくりに向けた`暑さ対策`の進め方を速やかに議論し、社会に発信していく必要がある。

今般、環境情報科学センターの暑熱適応のまちづくり研究会（涼まち研）では、まちなかに暑さ対策を導入していく際に参照いただける「涼しいまちづくりデザインガイドブック」を作成し、一つの考え方を示した。この機会に、関係する行政、ディベロッパー、有識者らが集まり、まちなかの暑さ対策を進めていく際に共有すべき考え方、課題などについて意見を交換し、涼しいまちづくりに向けて必要な施策等の一層の展開を推進したい。

2. 参加費等（ご入場は、環境情報科学学術研究論文発表会への参加が必要になります）

正・賛助会員 2,000 円 準会員 1,000 円 非会員一般 3,000 円 非会員学生 1,500 円

※事前申し込みは不要です

3. プログラム

1) 報告（各 10 分程度）

①三坂育正 日本工業大学 建築学科 教授（涼まち研主査）

暑熱適応による効果と「涼しいまちづくりデザインガイドブック」の作成

②吉川圭子 環境省 水・大気環境局大気環境課大気生活環境室 室長

環境省における暑さ対策の取組み

③森立史 東京都 環境局地球環境エネルギー部環境都市づくり課 課長代理

東京都における暑さ対策の取組みークールエリアの形成に向けてー

④村上孝憲 三菱地所株式会社 開発推進部 専任部長 エリアマネジメント推進室

大丸有（だいまるゆう）地区における暑さ対策の取組み

⑤太田勇 株式会社ミサワホーム総合研究所 環境エネルギーセンター長

住宅地におけるクールエリア創出事例

2) 討論（40 分程度）

司会：三坂育正

パネラー：各報告者